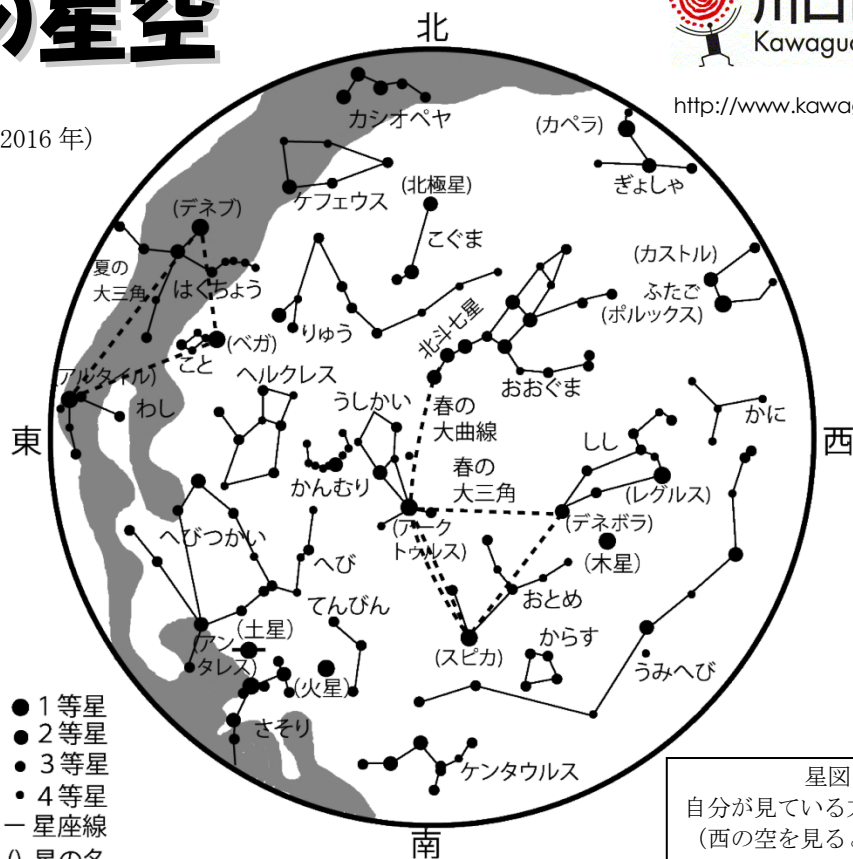


今月の星空

6月 (2016年)

上旬 21 時頃
下旬 20 時頃



- 1等星
- 2等星
- 3等星
- 4等星
- 星座線
- () 星の名
- 天の川

星図の見方
自分が見ている方角を下にして、
(西の空を見るときは西を下にし
て持つ) 頭の上にかざして見ます。

月 齢	● 新月 5日、	◐ 上弦 12日、	○ 満月 20日、	◑ 下弦 28日
惑星情報	水星	明け方	東 (おひつじ座 → おうし座	1 → -2 等級)
	火星	夕方	南東 → 南 (てんびん座	-2 → -1 等級)
	木星	夕方	南西 (しし座	-2 等級)
	土星	夕方	南東 (へびつかい座	0 等級)

★ 土星が衝 (3日)

美しい環を持つ土星が地球から見て太陽と反対側にくる「衝 (しょう)」となり、一晩中見られる観望好機となります。火星や「さそり座」の1等星アンタレスの近くに見えているので、これらを目印に探してみてください。3つの中で一番明るいものが火星、次に明るいものが土星です。

土星には60個以上の衛星があります。その中の一つ「エンケラドス」は、塩分を含んだ水が氷の表面から噴き出していることが観測されています。土星探査機「カッシーニ」の観測データから氷の下には海があり、その深さは30kmほどあることが分かりました。はたしてこの海には生き物がいるのでしょうか？

★ 南の空に見られる「春の夫婦星」

夜のはじめころ、南の空には2つの1等星、「うしかい座」のアルクトゥルスと「おとめ座」のスピカが見られます。アルクトゥルスはオレンジ色、スピカは白色をしていることから、2つを合わせて「春の夫婦 (めおと) 星」と呼ばれています。

アルクトゥルスには「熊の番人」という意味があります。それは、この星が「おおぐま座」を追いかけられるように時間とともに西へ動くからです。日本では梅雨 (五月雨 (さみだれ)) の時期、空高くに見られることから「五月雨星 (さみだればし)」とも呼ばれてきました。スピカには「麦の穂先」という意味があり、「おとめ座」は麦の穂を持つ農業の女神「デーメーテル」の姿です。

東からは「夏の大三角」などの夏を代表する1等星がのぼってきていて、本格的な夏の到来が近いことを感じさせます。